



子どもたちと寒川の未来をつなごう ～さらに先の50年へ～
『応援しよう 寒川の子どもたち』

事務所: 〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山7番地 サンワビル2F
TEL 0467(73)0046 FAX 0467(74)0027
例会場: 寒川神社参集殿 例会日: 月曜日 18:30

会長 中野雅之 幹事 下里宏規

会報委員(クラブ管理運営委員会)

中村 靖 井上 稔 石腰 亮 遠藤弘美
菊地良夫 椎谷敏行 鈴木郁男 帆刈 智

2026年9月29日(火)

鎌倉RC第3119回・寒川RC第2369回 合同例会
於: 鎌倉プリンスホテル バンケットホール七里ガ浜

司会: 高田幹事(鎌倉RC)

斉唱: 「手に手つないで」、唱歌「港」 ソングリーダー: 西会員(鎌倉RC)

メイクアップ 【本日分】 三澤会員(茅ヶ崎湘南RC)

来訪者紹介: 宮川会長(鎌倉RC)

ゲスト・スピーカー 熊坂隆光様(産経新聞社特別顧問)

ゲスト 三田伸江様(東京ワールドフォーラム 代表)、新保祐二様(文芸評論家)、辰川浩之様(大和証券新鎌倉支店長)、青少年交換学生LUMAさん

ビジター 須藤裕子様(東京白銀RC)

寒川RC出席者紹介・バナー交換

大和証券堀内会員(支店長交代のご挨拶)

青少年交換学生LUMAさんにお小遣い授与

～食事～

会長の時間 宮川会長(鎌倉RC)

鎌倉RCでは、先日9月25日の仲秋の名月に「お月見の会」を開催いたしました。濱田淑子委員長はじめ親睦委員会の皆さま、ご参加くださいました皆さま、誠にあり

がとうございました。寒川RC中野会長、下里幹事、そして井上AGを始めとする会員の皆さま、並びに事務局山本様、本日はようこそ鎌倉RCの例会へお越しくださいまし

出席報告

会員数	出席計算会員数	出席会員数	暫定出席率
33名	33名	18名	54.55%
本日欠席者	青木会員、秋本会員、石腰会員、石塚会員、石丸会員、井上(稔)会員、加藤会員、椎谷会員、清水会員、鈴木(郁)会員、鈴木(正)会員、三留会員、村松会員、山本(哲)会員、吉田会員		

た。鎌倉RCを代表いたしまして心より歓迎申し上げます。私どもの例会場でありますこて鎌倉プリンスホテルにて、このように皆様と一堂に会し、合同例会を開催できますことに、大きな喜びを感じております。寒川RCの皆様におかれましては、中野会長の「We Can Do It! ~ With a Smile ~」という力強いメッセージの下、地域に根差した精力的な奉仕活動を展開されており、私もいつも大きな刺激をいただいております。同じ国際ロータリー第2780地区に所属する仲間として、また、独自の歴史と文化を持つ地域のクラブ同士として、こうして顔を合わせ、親睦を深める機会は大変貴重だと考えます。通常の単独での例会では得られないような、新たな「ロータリーの絆」や「奉仕のアイデア」などを本日の合同例会、親睦会を通じて皆さまとともに分かち合えればと願っております。短い時間ではございますが、本日の例会、そしてその後の親睦会が、双方のクラブにとって実り多く、素晴らしいひと時となりますよう祈念いたしまして、私からの歓迎の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

会長の時間 中野会長(寒川RC)

皆さんこんにちは。本日は歴史ある鎌倉RCの皆さまと合同例会を開催でき、大変うれしく思っております。今日は、先週の土曜日に藤沢の相沢ビル行われた「社会・国際奉仕事業セミナー」でも当クラブの井上晋一AGより発表があった「インクルーシブなスポーツ体験」が、今年度3回目を迎えますので少しご紹介させていただきます。このイベントは、パラスポーツのボッチャやブラインドサッカー、サウンド・テーブル・テニスなど、普段なかなか体験できないスポーツを子供たちに実際に経験してもらいます。こうした体験をすることで、障害のある方がどんなところで苦労しているのか、頭で考えるだけでなく、実際に感じるすることができます。そして、「困っている人がいたら声を掛けよう」、「お互いに助け合おう」という気持ちにつながってくればと言う思いで行っています。私たちロータリアンもこのような活動を通して、誰もが暮らしやすい、思いやりのあるバリアフリーな社会づくりに貢献したいと考えています。またこれが、インカRI会長の今年度のテーマ「持続可能なインパクト」につながっていければと思っています。今年度は、来年の5月15日(土)に寒川総合体育館のアリーナで開催する予定ですので、お時間ある方は是非！遊びに来ていただければと思います。という事で、この後の懇親の場では、誰でもできるというところではインクルーシブにつながると思うのですが、鎌倉RC vs 寒川RCのゴルフパター対決も予定しております。決して鎌倉RCさんに勝負を挑もうなんて大それた考えではなく…。じゃんけんでもなんでも勝ち負けというのは一番盛り上がる

ので、皆さんで楽しんで更に親睦を深めていただければと思っています。これで私の会長の時間は終わりにします。ありがとうございました。

幹事報告 下里幹事

例会変更

茅ヶ崎中央RC

週報受理

寒河江RC

その他受理

●ガバナー事務所

～ 2027-28年度ロータリー財団奨学生募集案内 {Aロータリー奨学生 奨学金額:34,000米ドル B第2780地区ロータリー財団奨学生 奨学金額:24,000米ドル}

～米山一泊研修旅行開催案内 {11/7(土)-8(日) 泊:ホテルサンバレー伊豆長岡 参加費:28,000円}

～ロータリー財団地域セミナー開催案内 {12/2(水)13:00～ 於:リーガロイヤルホテル大阪 登録料:12,000円}

●寒川神社

～菊花展・写真展協賛のお願い

次回回覧

○ハイライトよねやま vol.318

第2369回スマイルボックス

中村靖クラブ管理運営委員長

合計17,000円

卓話:熊坂隆光(くまさか たかみつ)様



『オールドメディアの舞台裏』要約

皆さんは、新聞やテレビを普段どのようにご覧になっているだろうか。今回の例会では、産経新聞社特別顧問の熊坂隆光氏を講師にお迎えし、「オールドメディアの舞台裏」と題して、長年にわたり新聞・テレビの世界に携わっ

てこられたご経験をもとに、メディアの現状と課題についてお話しいただいた。熊坂氏は、1971年から新聞記者として歩まれ、新聞社の社長やテレビ局の取締役も務められた。55年にわたって報道の現場を見てこられたご経験から、現在の新聞・テレビが置かれている厳しい状況について、率直な見解を示された。新聞の発行部数は1997年をピークに大きく減少し、若い世代を中心にテレビ離れも進んでいる。その背景には、インターネットやSNSの急速な普及だけでなく、既存メディア自身が抱える問題もあると熊坂氏は指摘された。報道機関には権力を監視する重要な役割がある一方で、「権力批判だから何でも許されるわけではない」とも述べられた。報道する内容だけでなく、「何を報道しないのか」という選択もメディアが恣意的に行えば、世論や社会の動きに大きな影響を与えてしまう、とも強調された。さらに、新聞記事が作られる舞台裏についても、興味深いお話を伺った。十分な情報が集まっていない段階でも締め切りは待ってくれない。そのため、若手記者が「事態は思わぬ展開となった」「今後の成り行きが注目される」といった、さまざまな場面に使える表現で原稿をまとめることがあるという。熊坂氏は、こうした表現を実際に使った現場中継を披露され、会場を大いに沸かせた。一方で、新聞業界が抱える問題は報道姿勢だけではない。購読者の減少、SNSの普及、経営環境の変化に加え、記者の厳しい勤務環境による人材確保の難しさなど、構造的な問題も深刻になっていると説明された。最後に熊坂氏は、オールドメディアが今後どうなっていくのかを考えるには、既存メディアだけでなく、SNSを含めたさまざまな情報源を比較し、受け手自身が情報を見極めることが重要だと語られた。情報があふれる時代を生きる私たちにとって、何が報じられているのかだけでなく、その背景に何があるのかを考えることの大切さを改めて考えさせられる、示唆に富んだ卓話となった。

懇親会

前半：

- ①自己紹介
- ②ロータリー入会のきっかけ
- ③思い出深い事業を話題に、テーブルごとに歓談

後半：

クラブ対抗パターゴルフ大会

1.先鋒 2.次鋒 3.中堅 4.副将 5.大将の5名がそれぞれ3パットの個人戦を行う。







